

(別紙4(2))

事業所名 グループホームスローライフ大谷

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	子ども神輿が立ち寄ってくれるが、現状はご祝儀を渡すのみに留まっている	子ども神輿の子どもたちに菓子などを利用者の手から渡すことで、利用者の楽しみを1つ増やすとともに、地域交流をさらに密にする	夏祭りが近くなったら、利用者と菓子を選びに買い物にでる。その後皆で袋詰めする(余裕があればリボンやメッセージカードを付ける)	5ヶ月
2	4	運営推進会議に市役所、地域包括支援センター職員の出席がみられない	行政の参加を得て、運営推進会議の内容を充実させる	市役所、地域包括支援センターへ開催案内及び出欠の返信票をFAXする	12ヶ月
3	33	看取り指針が書面として整えていない	看取りの取組みを更に高める	看取り指針を整備する	3ヶ月
4	35	防災訓練に夜間想定と通報訓練の実施がない。また飲料水の備蓄もない	有事に備え、訓練や備蓄を整える	・防災訓練メニューに夜間想定と通報訓練を加える ・飲料水を3日分程度備蓄する(井戸水の復活も検討してみる)	12ヶ月
5	52	毎日おこなう必要のない箇所が掃除もれとなり、埃が溜まっている	掃除もれのない快適な環境をつくる	掃除箇所の洗い出しをおこない、「月曜日の夜勤はこの箇所」というように割り振り、毎日実施する掃除とは別に、頻度は少なくともよいものの掃除が必要な箇所も清潔に保つ	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。